

連携

第66号

病院の理念

わたしたちは、患者さまを第一に考え、いのちを大切にす最善の医療を行い、地域に貢献します

基本方針

わたしたちは、患者さまのことを考え、いのちを大切にします

1. 市民から信頼される、安全な医療を行います
2. 良質な医療を行うために、つねに新しい知識と技術を身につけるように努めます
3. 地域のニーズに合った医療を提供することで、地域に貢献できる病院をめざします
4. 地域の医療の中心として、ほかの医療機関との連携に努めます



平成30年度がはじまりました

院長 中鉢 誠司

昨年の4月に循環器内科を開設しました。当初は24時間365日対応に不安もありましたが、循環器医師をはじめ看護部、ME、放射線科、検査科、リハビリなどのがんばりと連携施設のご協力もあり、順調に船出をさせていただいた1年でした。連携施設からの循環器内科への紹介件数は1年間で約1000件、心カテ等の検査・手術は年間364件、緊急心カテは69件で、予想以上であったと思っています。ぜひ今後とも皆様方のご協力をお願いしたいと思います。今年度は呼吸器内科を開設する予定にしています。胸部の二次検診やCOPDなどの呼吸器疾患のご紹介も頂けたらと思います。また来年度の開設を目指した結核病棟の建設も始まっています。工事による第2MRI装置の使用制限もありご迷惑をお掛けすることになりますが、何とか対応しますので、これまで通りの検査紹介をお願いします。

今年度から新しい専門医制度が開始されました。

大都市に専攻医が集中し、地域ではますます医師不足となっていきます。良し悪しは別にして修学資金の医師あるいは自治医大の卒業生も義務年限内から専門医研修を受けられる病院へ派遣される方針になっています。これまでのように自動的に来てくれる事は無くなったようです。さらに4年後に最初の卒業生が出る医科薬科大学に関しても同様の事が言えます。病院としては彼らが研修出来る環境を整え、一人でも多くの医師が栗原市に来てくれるよう努力していくつもりです。これからは栗原市全体で医学生や若手医師の教育・研修に力を注ぐことが医師不足への対応策と考えます。今回、医科薬科大学3年生の診療所実習を医師会の皆様が引き受けて頂いたことは大変ありがたく思っています。これからも宜しくをお願いしたいと思います。

今後の人手不足や財源不足を考えると、どの施設も単独での生き残りは厳しくなっていきます。今後、医療機関や介護施設などを含め、栗原市全体での協力体制が必要な時代になってくると考えます。

新規採用医師紹介

平成 30 年 4 月 1 日付けで採用となりました先生方です。どうぞよろしくお願い致します。

内科医長兼感染管理室長
宇佐美 修 (うさみ おさむ)

呼吸器・感染症を中心に地域の皆さまにお役立てできるようがんばります。



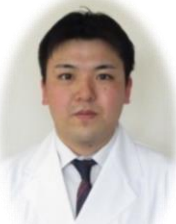
外科医長
岩根 尊 (いわね たける)

4月より外科医として赴任いたしました。地域のニーズをふまえた医療の提供を心掛け、少しでもお役に立てればと思います。どうぞ宜しくお願いします。



内科副医長
吉野 祐貴 (よしの ゆうき)

国保丸森病院で2年、七ヶ宿町国保診療所で1年勤務して、3年ぶりに栗原中央病院に戻ってきました。とくに診療所では、町に1人だけの医師として貴重な経験をたくさんさせていただきました。また、内科医としてがんばりますのでよろしくお願い致します。



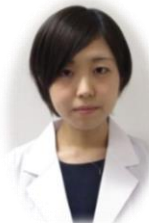
循環器内科副医長
大槻 知広 (おおつき ともひろ)

4月より循環器内科に赴任致しました。前任地の東北大学では肺高血圧症の診療を行って参りました。栗原地域の循環器診療に貢献していきたいと思致します。何卒宜しくお願い申し上げます。



整形外科医員
藤盛 理子 (ふじもり さとこ)

4月より整形外科医として赴任しました。栗原市の医療に少しでも貢献できるよう、精一杯働かせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。



内科副医長
齊藤 奈津美 (さいとう なつみ)

4月より内科医として赴任いたしました。地域医療に貢献できるよう誠心誠意努めてまいりたいと思致します。よろしくお願い致します。



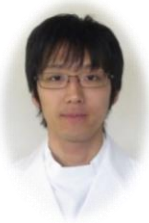
臨床研修医
小俣 文弥 (おまた ふみや)

4月より働かせていただくことになりました、小俣文弥です。右も左もわかりませんが、1日でも早く皆様のお役に立てるよう努力したいと存じます。どうぞよろしくお願い致します。



臨床研修医
中村 匠汰 (なかむら しょうた)

初期研修医としてお世話になります、中村匠汰です。1つずつできることを日々学び増やし、早くお役にたてるよう頑張ります。よろしくお願い致します。



平成 30 年 3 月 31 日付け 退職者

外科医長 齋藤之彦 内科副医長 永友宏史
外科医員 武田美貴



大変お世話になりました

「やなせなな コンサート&トーク ～支えあい 輝くいのち～」

平成30年2月23日(金)、当院外来ロビーにて、シンガーソングライターのやなせななさんを迎え、がん病院事業でもある市民コンサートを開催しました。当日は市内外問わず県外からも約250名の参加がありました。

心を揺さぶられる迫力と心に響くような癒やしを併せ持つやなせさんの歌声で、会場の



多くの方々が感動と涙に包まれていました。また、自らの闘病経験から得た「生死観」や東日本大震災のボランティア活動から得られた話を涙ながらに語って下さいました。コンサート終了後にはサイン会も行われ、参加された方々ひとりひとりとお話をしたりと、とてもあたたかいコンサートとなりました。



院内研修の報告



☆医療安全研修会

『麻薬・向精神薬・毒薬の取り扱い、注意点について』 平成30年3月19日(月)

講師：薬剤科 副薬剤科長 高橋裕保 先生

平成29年度は向精神薬や麻薬に関する重大事例も報告されており、今回の研修は向精神薬や麻薬の取り扱いを振り返るいい機会になったのではないかと思います。参加人数も医師3名を含む108名と多く、実際薬剤を取り扱うことの無い職種の職員に参加して頂けたことは、医療安全に対する意識が高いことを示しており意義のある研修だったと思います。

平成29年度 医療安全管理室 リスクマネージャー 阿部明美



☆院内感染対策研修会

『抗菌薬適正使用支援チームについて』 平成30年3月22日(木)

平成30年度より診療報酬に追加となる抗菌薬適正使用支援加算の算定要件である「抗菌薬適正使用支援チームについて」をテーマに講義を行いました。追加講義を3月27日に3回実施し、計4回の講義に218名の職員の参加をいただきました。テーマが少し難しかったのですが、抗菌薬の使用方法も、感染を拡大させないための日々の対策も共に重要なのだということが、理解いただけただけの研修会になったと思います。



感染管理室 感染管理認定看護師 上野賀子



学会・研修会・論文発表

☆第43回 日本心血管インターベンション治療学会 東北地方会 2018.1.27 一盛岡市一

ロータブレード不可能な施設での高度石灰化病変に対するPCI 戦略

(Scoring バルーンで拡張不良症例を経験して)

栗原中央病院 循環器内科 矢作浩一、尾形 剛、平本哲也



☆第213回内科学会東北地方会 2018.2.17 一 仙台市 一

当初は Serogroup 1 と判定された HCV が、後に Genotype 1b +2b と判明した 1 例

栗原市立栗原中央病院 内科

○毛塚 大、佐藤修一、柚木敬仁、山田 剛、村田次啓、木田真美、平本哲也

スタチン製剤と向精神薬を内服しており薬剤性横紋筋融解症との鑑別を要した悪性症候群疑いの1例
栗原市立栗原中央病院内科

○日下勝秀、佐藤修一、柚木敬仁、吉越仁美、木田真美、中山昇一、平本哲也

低カリウム性周期性四肢麻痺を契機に診断されたバセドウ病の2例

栗原市立栗原中央病院内科

○岡田将平、山田 剛、日下勝秀、佐々木章裕、永友宏史、佐藤修一、平本哲也

同 外科 中野知之

診療状況報告



◎救急医療状況()内及び時間内患者数は救急車搬入数

(単位：人)

区分	外 来		入 院		時間外計	時間内計	救急車搬入計
	時間外	時間内	時間外	時間内			
10月	261 (68)	22	78 (40)	43	339 (108)	65	173
11月	214 (39)	18	90 (44)	25	304 (83)	43	126
12月	279 (56)	23	109 (65)	38	388 (121)	61	182
1月	309 (74)	31	88 (59)	41	397 (133)	72	205
2月	264 (62)	20	88 (54)	41	352 (116)	61	177
3月	291 (54)	17	92 (48)	34	383 (102)	51	153
年度計	3,432 (698)	241	1,014 (576)	414	4,446 1,274	655	1,929

◎内視鏡検査等状況

(単位：人)

区分	上部消化管				下部消化管		ERCP 関連	合計
	診断的 内視鏡	止血術	粘膜切除 粘膜下層 剥離術	胃瘻造設術 食道拡張術 異物除去他	診断的 内視鏡	治療内視鏡 ポリペクトミ ー他		
10月	184	2	3	2	89	20	14	314
11月	176	13	2	2	70	28	24	315
12月	169	8	2	4	37	18	12	250
1月	133	12	1	5	45	13	25	234
2月	136	8	2	2	43	12	15	218
3月	160	7	2	6	58	12	14	259
年度計	2,160	118	24	36	866	244	204	3,652

◎手術実施状況

(単位：人)

区分	全身麻酔					腰椎麻酔					局所麻酔					合計		
	外	泌	皮	整	計	外	泌	皮	整	計	外	泌	眼	皮	内		整	計
10月	14	0	0	14	28	1	0	0	11	12	1	0	24	0	0	2	27	67
11月	19	0	0	18	37	0	0	0	12	12	1	0	21	0	0	4	26	75
12月	17	0	0	13	30	0	0	0	8	8	2	0	21	0	0	2	25	63
1月	13	0	0	26	39	0	0	0	6	6	1	0	20	0	0	1	22	67
2月	11	0	0	22	33	1	0	0	10	11	0	0	24	0	0	1	25	69
3月	11	0	1	16	27	0	0	0	11	11	2	0	14	0	0	3	19	57
年度計	182	0	1	182	364	6	0	0	112	118	20	0	256	1	0	40	317	799

◎心臓カテーテル等実施状況

(単位：人)

区分	心臓カテーテル検査			冠動脈カテーテル手術 (心臓カテ再掲)			ペース メーカー 移植術	ペース メーカー 交換術	下肢動脈 カテーテル 手術	補助循環 装置 (IABP, PCPS)	合計
	予定	緊急	計	予定	緊急	計					
10月	16	7	23	3	6	9	0	2	0	1	25
11月	16	3	19	2	3	5	5	3	3	1	30
12月	21	10	31	6	9	15	2	0	0	1	33
1月	27	6	33	5	3	8	3	0	0	4	36
2月	26	4	30	9	4	13	3	0	0	1	33
3月	29	4	33	5	3	8	3	1	2	2	39
年度計	227	69	296	53	56	109	36	10	10	18	352

- 編集後記 -

5月に入り、田植えをする光景が多くみられます。田植えを終えた体は疲労困憊ですね。ゆっくり温泉に入って体を休めたいです。さあ、新年度もがんばりましょう!



〒987-2205 宮城県栗原市築館宮野中央三丁目1番地1

栗原市立栗原中央病院(代表) TEL:0228-21-5330 FAX:0228-21-5350

<http://www.kurihara-central-hp.jp/>

地域医療連携室(直通) TEL:0228-21-5335 FAX:0228-21-5336